

顔に赤っぽいシミができました。放っておいても大丈夫？
日光角化症の場合は早めの治療が大切です
中野皮膚科クリニック
<http://www.nakano-derma.com/>

顔や頭部、手の甲など

にできる赤くカサついたシミについて、日本皮膚科学会皮膚科専門医、中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きま

した。この症状で考えられる病気は？

「仕事や趣味などで長時間、屋外で過ごすことが多くあり、日光をよく浴びている人の場合は、日光角化症が考えられます」

「この症状で考えられる病気は？」

「仕事や趣味などで長時間、屋外で過ごすことが多くあり、日光をよく浴びている人の場合は、日光角化症が考えられます」

「この症状で考えられる病気は？」

—どんな種類がありますか？

「最も多いのが紅斑型です。表面は赤っぽいシミのように平らで表面はカサカサしています。そのほか、やや盛り上がった淡い褐色や濃い褐色のシミのような色素沈着型、イボのように盛り上がった疣状(ゆうじょう)型などがあります。年齢が60歳以上でこのような状態がみられたら、早めに皮膚科を受診してください」

「最も多いのが紅斑型です。表面は赤っぽいシミのように平らで表面はカサカサしています。そのほか、やや盛り上がった淡い褐色や濃い褐色のシミのような色素沈着型、イボのように盛り上がった疣状(ゆうじょう)型などがあります。年齢が60歳以上でこのような状態がみられたら、早めに皮膚科を受診してください」

「最も多いのが紅斑型です。表面は赤っぽいシミのように平らで表面はカサカサしています。そのほか、やや盛り上がった淡い褐色や濃い褐色のシミのような色素沈着型、イボのように盛り上がった疣状(ゆうじょう)型などがあります。年齢が60歳以上でこのような状態がみられたら、早めに皮膚科を受診してください」

「最も多いのが紅斑型です。表面は赤っぽいシミのように平らで表面はカサカサしています。そのほか、やや盛り上がった淡い褐色や濃い褐色のシミのような色素沈着型、イボのように盛り上がった疣状(ゆうじょう)型などがあります。年齢が60歳以上でこのような状態がみられたら、早めに皮膚科を受診してください」

「最も多いのが紅斑型です。表面は赤っぽいシミのように平らで表面はカサカサしています。そのほか、やや盛り上がった淡い褐色や濃い褐色のシミのような色素沈着型、イボのように盛り上がった疣状(ゆうじょう)型などがあります。年齢が60歳以上でこのような状態がみられたら、早めに皮膚科を受診してください」

「最も多いのが紅斑型です。表面は赤っぽいシミのように平らで表面はカサカサしています。そのほか、やや盛り上がった淡い褐色や濃い褐色のシミのような色素沈着型、イボのように盛り上がった疣状(ゆうじょう)型などがあります。年齢が60歳以上でこのような状態がみられたら、早めに皮膚科を受診してください」

紅斑型は赤っぽく表面がカサついたシミ



—治療法は？

「まず皮膚の一部を切り取って生検を行い、確定診断をします。治療法としては、患部をメスで切除する外科切除や液体窒素を使った凍結療法のほか、顔面または頭部の髪の毛のない部分であれば塗り薬での治療もあります」



診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	○
15:00 ~ 18:30	○	○	○	○	○	—

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

問い合わせ
中野皮膚科クリニック
中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分
☎03-5342-0722